

中小企業振興策（アクションプラン）の委員意見の集約（まとめ）

委員意見	事務局（参考）
<p>・ 中小企業振興のための経営基盤の強化、雇用の安定</p> <p>全般的に新しい取り組みに対する支援が多く、活力をあげていくという点でよい取り組みだと思えます。</p> <p>ただ、昨今の企業の経営課題として労働力確保が難しくなっています。若年・高齢・女性・障害者・外国人等、市として可能性を含めてターゲットを絞って、特色・狙いをもって支援を集中することも経営基盤強化の手段の一つだと思えます。既に、若年者雇用に補助金出されおり、効果が出ているなら、さらに促進していただきたい。若年層をターゲットとするようであれば、地場の高専・工業高校との連携を強める施策を増やしてはどうかと思えます。</p> <p>また、人材確保ということで、人材紹介業者の活用による市外からの採用を支援する。紹介料は非常に高額であり、企業負担軽減は非常にプラスになると思えます。</p> <p>そのようなところ、従業員教育、情報取得等の面で地域不利をやわらげるという観点も取入れていただければと思えます。</p>	<p>①地元の高専・工業高校との連携</p> <p>高専については、求人求職面接会の案内を学校に出している。（商工会議所が中心にハローワーク・三木市連携）</p> <p>工業高校については、昨年度から県(北播磨県民局)が中心に北播磨市町・商工会議所、ハローワーク等と連携し、学校の体育館で、学校 OB の企業従業員による説明会を開催しています。</p> <p>市内の高校及び周辺の工業高校の生徒を対象として昨年から企業見学会（地元企業 6 社程度）を夏に商工会議所が開催しています。</p> <p>②人材紹介業者の活用</p> <p>企業においては、高額な紹介手数料が必要なため、少額の費用負担であれば、検討もできますが、やはりある程度の割合の負担支援がないと企業としてもメリットが少なく、財源をどうするかということが出てきます。</p> <p>兵庫県（ひょうご産業活性化センター・ひょうご専門人材相談センター）では、人材紹介業者を登録してプロフェッショナル人材のマッチングを行っていますが、県でも紹介手数料の一部負担は行っていません。</p> <p>ただし、兵庫県では、企業魅力アップ・定着支援事業があり、地元の中小企業が就職希望者（新卒・UJI ターン）等に面接旅費・転居費用、情報発信・採用活動の費用の一部を助成する制度があります。</p> <p>財源については、市として、国・県・市の事業の棲み分けも考えていく必要があります。</p>
<p>・ 目標値</p> <p>現状維持の項目については施策に強弱をつけるためにも可能な範囲で詳細データを把握が必要だと思えます。</p>	<p>当審議会では、委員の皆様から何度も詳細データの提示を求められていますが、いつもお答えしているとおおり、詳細な統計データがないのが現状です。</p>
<p>・ 広報戦略について</p> <p>様々な施策については、その内容と共に多岐にわたる広報が重要。特に Facebook や Twitter に代表される SNS による広報は、特に次代を担う若齢労働者層には必要不可欠です。今回の中小企業振興策における、SNS での情報発信に向けての体制、(人的、金銭的)については、体系的に構築すべきと考えます。</p>	<p>三木市では、ホームページのリニューアルを進めており、リニューアル後にはスマートフォンやタブレットからの閲覧に対応できるようになります。</p> <p>また、各ページには、各記事の内容を閲覧者が利用する SNS に出力する「ソーシャルボタン」が設置されるため、閲覧者のネットコミュニティの人々への共有</p>

	<p>(シェア)の可能性が高まると考えます。</p> <p>ただし、今回のリニューアルは、市全体のHPの閲覧性や操作性の向上を目的としたものであり、中小企業振興の施策や事業の情報発信に特化したものではありません。</p>
<p>・中小企業振興のための施策と具体的な取組の評価に対して、下記の指標は有効なのか？中小企業振興によってのみ、全産業の事業所数、従業員数が増加すると思えない。</p> <p>1 事業所数(全産業) 3,261 3,300(現状維持)</p> <p>2 従業者数(全産業) 34,389 35,000(現状維持)</p> <p>振興対象の中小企業の事業所数、従業員数を評価すべきでは？</p>	<p>ご指摘のとおり、中小企業振興によってのみ、全産業の事業所数、従業員数が増加すると思われませんが、客観的な統計データとなりますと、事業所数、従業者数となります。振興対象は、三木市内の中小企業(全産業の事業所数の99%以上と推定)となります。</p>
<p>・中小企業サポートセンターの成果は上がっているのか？</p>	<p>経営革新計画の承認、経営力向上計画の認定、補助金の採択、創業実現等の実績があります。また、相談件数も毎年増加し、小規模事業者から従業員100人以上の中堅企業まで利用されており、成果は上がっていると考えます。</p>
<p>・見本市への出展補助はしているが、市としての当事者としての取り組みが消極的ではないか？</p>	<p>見本市への出展補助だけでなく、実際に市商工振興課かなもの係の職員が幕張メッセ等の見本市に行っています。また、鍛冶でっせについては、金物まつり、金物フェア、金物大学の事務局と同様に、補助金等で市が費用負担をするだけでなく、市職員を派遣し、運営等の裏方的な業務もしております。</p>
<p>・各事業の市の担当部署が分かり辛く、どの様な活動をしているのか分からない。</p>	<p>各事業については、市産業振興部内の商工振興課、観光振興課が担当しております。</p>